



三原の木 楠の並木道 (円一町) (撮影者:老人大学 森平 康則 さん)

今号のもくじ

ページ	主な内容
2~3	令和2年度予算特別委員会
3	補正予算の概要
4~12	市政を問う 総括質問
13	委員会報告

ページ	主な内容							
14~15	議決結果							
15	次回定例会のお知らせ							
16	わがまちに望む夢							

西日本豪雨災害からの早期復旧・復興を図るとともに、市民満足度の向上や人口9万人 の維持をめざす予算

予算特別委員会で慎重に審査した結果、全会計の予算と関連議案が可決となりました。審査の過程において多岐 864万円)・企業会計(121億9811万7千円)の予算と関連議案について、3月9日から12日の4日間、 にわたる質疑が行われました。 第1回定例会は2月25日に開会され、令和2年度一般会計(527億7600万円)・特別会計 (232億6

(予算特別委員会 (質疑の抜粋)

(総務費)

関係人口創出事業

か。 集はどのようにするの地域はどこを想定し、募問 関係人口の受け入れ

る。間に位置する人口であに来た「交流人口」と観光した「定住人口」と観光した「関係人口とは、移住

募集は、東京都内等で定住につなげていく。別に考えていき、移住・別に考えていき、移住・別に考えていき、移住・別に考えていき、おは、山間

本庁舎維持管理事業

セミナーを開催してい

である。

> 要で申し込みができる。 がで申し込みができる。 がで申し込みができる。 がで申し込みができる。 がで申し込みができる。

(民生費)

□ 敬老会開催の在り方 直す旨の説明があった 直す旨の説明があった 終続などもあり財政的に 然続などもあり財政的に が、新斎場使用料の無料 が、新斎場使用料の無料

り、その動きを見ながらニティの再生が重要であが発生しており、コミュが

間 実施団体には記念品財政的な余裕はない。判断したい。

【農林水産業費】

世産性向上に務める。 を産性向上に務める。 を所得の向上政策を問う。 を所得の向上政策を問う。 を活用 と、栽培面積の拡大と、 を活用

(商工費)

社 空・道・港」の内容 観光DMC「株式会

合、撤退はあるのか。 して機能できなかった場 は。また、観光DMCと を明らかにするべきで

答 民間会社が行う事業・収支等は、内容を明業・収支等は、内容を明難である。しかし、公益難である。しかし、公益難である。しかし、公益を担保するについて、たしていく。

国が進める施策に歩調を合わせ、地域連携DMを合わせ、地域連携DMをしていく。撤退の想定をしていく。撤退の想定をしていく。撤退の想定をしていく。撤退の想定が進める施策に歩調

【消防費】

う事 るようになる。市民や自。 でも確認することができた場 フォンやパソコンでどことと いた防災情報をスマートきで 答 紙ベースで確認して

活用方法について周知・

主防災組織に対し、その

【教育費】

間 児童生徒 から変わって がるがなぜ から変わって がるがなぜ

画・後期基本 長期総合計 令和2年

ぐした。
変更し、より分かりやす値に対する市内平均値に計画で、指標を全国平均

【災害復旧費】

答 公共土木施設・河川 では31年度入札不調分を 含めて124カ所の工事 を予定しており、年度内 を予定しており、年度内 度の目標を52・8%とし ており、繰越を利用して ており、繰越を利用して



土砂が流入した水田

えて、内港の再生に向け

区分所有者の意向を踏ま

た基本的な整備方針を定

めて行きたい。

定は。 るのか、また、今後の予 三原港周辺整備につい 問調査設計委託料は て、何を調査し、設計す

進み、施設の再整備が必 車場はいずれも老朽化が 30年3月に策定した「市 業務委託によって、平成 行われている。この度の 視野に入れた協議検討が 区分所有者の間で解体を 要な段階に入っており、 中心部のグランドデザイ ン」の考え方を念頭に、 港湾ビルと内港東駐



港湾ビル

別会計 きたい。 港の再生に取り組んで行 まとまり次第、 を重ね、基本的な方針が とした区分所有者と協議 ついて、広島県をはじめ し、その方針に沿った内 また、 今後の方向性に 適宜公表

【後期高齢者医 療特

ないか。 成の対象とするべきでは 業であり、 は、広島県後期高齢者医 いる。本市においても助 が健診事業として行って 療広域連合の補助対象事 、間ドックの費用助成 後期高齢者に対する 県内11の市町

複することも考えられ けた場合、検査項目が重 に検査を受けている事例 は疾病等により、 罹患率が高くなることか が多く、人間ドックを受 いる。また、後期高齢者 いた健診事業を実施して ら、がん検診に重点を置 後期高齢者はがんの 定期的

> 望するがん検診を組み合 り、基本健診と本人が希 推進している。 わせる方法で健診事業を ができる体制を整えてお 項目を無料で受けること ·では、ほとんどの検査 このような背景から本

健康寿命の延伸に向けた 広く周知するとともに、 取り組みを推進して行き このような健診体制を

討論

反対討論

意が反映された予算編成 う支出が膨大であり、 に向けて精力的に取り組 ではない。 大型公共施設の建設に伴 んでいるが、従来からの 豪雨災害の復 间 民

賛成討論

り巻く課題解決に向けた 地活性化など、本市を取 積極的な予算編成がなさ れている。 少子高齢化や中心市街

り37件については全員一 議第22号は賛成多数、 議第1号、

ネットワーク整備と児童・生徒一人に1台の学習者用情報端末配備の ため12億850万円を増額するもの等です。 ため14億6087万8000円、「ギガスクール構想」 主なものは、小・中学校の教室に空調設備整備事業の前倒し実施 に基づく校内 **の**

補正予算特別委員会 (質疑の抜粋)

活用支援事業

クラウドファンディング

なった現状を、どう捉え ているのか。 補助金の交付に結びつか る補正になっているが、 初予算から全額を減額す ング活用支援事業は、当 クラウドファンディ

どに時間を要したことか という申し出を受け、調 調達にクラウドファン につながらなかった。 を活用するための申請な 事業計画の策定、本事業 会や関係者との協議及び 整してきたが、地元町内 ディングを活用したい、 今年度の補助金交付 事業の実施にあたっ 市民団体から、資金

議第7号、 題であったと考えられる が、それらの課題に対し 業の採算性確保などが課 ては、資金面の調達や事

> たが、具体的な事業の実 塾」を開催し、魅力的な て、行政としてどのよう 保する方法などを協議 店舗づくりや採算性を確 なフォローをしたの る「リノベーション実践 中小企業診断士によ か。

象エリア拡大の検討や、 組んでいきたい。 既存の補助と併せた支援 ディングを活用できる対 後は、クラウドファン 現には至っていない。今 生まれていくよう、 で、多くの起業や活動が 取り

ギガスクール構想

に 加 購入が全国的に予定され と、学習者用情報端末の 内ネットワークの整備 空調設備を整備する事業 クール構想」に基づく校 小・中学校の教室に え、 国の「ギガス

> 開始が遅れてしまうこと ており、 それぞれ で運用

いて、 すロードマップに沿った 掛かるとともに、 ついては、空調整備に続 整備と情報端末の購入に までには工事を完了させ スケジュール管理に努め たいと考えている。 で、2年度の夏休み明け 前倒しして実施すること た、校内ネットワークの 令和2年度の事業を 順次、整備に取り 国が示 ま

案通り可決した。 ついては、 議第40号ほか11 全員一致で原

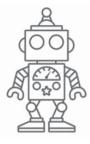
令和2年2月定例会 総括質問

市政を問う

定例会では3月4日、5日、6日に総括質問が行われ、17人の議員が質問に立ちました。 その主な内容を、紙面の都合上、1人2項目以内に要約して掲載しました。 発言内容は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

詳細な内容は、三原市ホームページで閲覧できますのでご覧ください。 (公表までには、議会終了後おおむね3ヵ月を要します。)

HPアドレス http://www.city.mihara.hiroshima.jp → 市議会 ➤ 議会映像ライブラリー



Robotic Process Automation 「ロボットによる業務の自動化」

RPAとは

スを図りながら育成をし 力と専門性向上のバラン 行っており、職員の総合 参考にした人事異動を

アドバイザーの助言を受

新組織のもとで外部具体な戦略について

具体な戦略につ

けながら全体計画を策定

市内外に本市の魅力

を伝えるプロモー

-ション

うとしているのか。 とし、どのように進 が、具体的に何を訴求力

31年度までの前期基 うい の

取

験として、職員の通勤経 答 平成31年度、実証実 路の計算など3業務を構 令和2年度

ような計画を考えている 討がされているが、どの トメーション)導入の検 ティック・プロセス・オー

現在、職員の異動希望を 高い人材も必要となる。 ていた。今後は専門性の を身に付ける育成に努め てどう考えているのか。 力開発や人材育成につい なるが、今後の職員の能 業務が求められるように これまでは、総合力

間 定常業務 ければできない専門的な により、職員は職員でな 定常業務のRPA化

求力のあるシティプロ問 移住希望者向けの訴 口の創出を図っていく。 ツアーを企画 モーション戦略が必要だ や課題解決を目的とした 首都圏の若者をター 地域との交流 し、関係人

させる新たな施

せる新たな施策は何、UIJターンを増加年間の後期基本計画 移住実績からは、こ

率化やコスト削減の目的

本市でも、職員の効

で、定型的な事務作業を

る。また、次期行財政改 業を抽出する予定であ 上して、取り組む事務作

目動化するRPA

(ロボ

目の一つに掲げ、



5 年間 とは言えない。これかられまでの施策が成功した 帯である。 5年間で185人、 を利用した移住実績は、 数と世帯数はいくらか。 へ移住された移住者の人 本市の移住相談窓口



子育て支援について

童数61人、児童クラブの の施設に入所できない児 2年2月1日現在、希望 も園の待機児童数は令和 も園並びに放課後児童ク ついて問う。 ラブなどの待機児童数に 保育所及び認定こど 保育所及び認定こど

待機児童数0人である。 放課後児童クラブの

り進んだのか。 拡充する計画は予定どお 対象学年を6年生までに

ら増額されるのか。

導員の給与は年額でい る。市直営児童クラブ指 なく賃金格差が発生す ラブ指導員は処遇改善が 以外(26カ所)の児童ク 処遇改善されるが、直営 所) 児童クラブ指導員は 導入。市直営(8カ所 を完了した。 会計年度任用職員制度を 市は、2年4月から 全てのクラブで拡充 <

50万円増額になる。 及び児童クラブ指導員 なる市直営の補助保育士 3年度以降は年額約 2年度年額 会計年度任用職員と 約35万

はいかがなものか。 たれている方も多く、賃 と言われており、 金等に格差が生じること なう事業で不公平感をも 「同一労働、同一賃金」 政府の働き方改革 市が行

66

放課後児童クラブ

子どもの遊び及び 上活の全般を通じた

故課後児童支援員

と委託先の賃金に格差が 市としては、市直営

> に賃金格差の縮小に向け 設などを要望していく。 た新たな交付金制度の創 いと考えている。県や国 あることは、 望ましくな

洋式化について 小・中学校のトイレ

シュ化は完了する。 舎棟トイレのリフレッ いる。このことにより校 校で施設整備を予定して 進捗状況について問う。 深小学校、 体育館のトイレ洋式 2年度は糸崎小学 校舎棟トイレ洋式化 、久井中学

問

質

も使用し、高齢者や障が 化は遅れている。災害時 を進めてはどうか。 い時期にトイレの洋式化 の使用は大変難しい。早 いのある方は和式トイレ は避難所として地域住民

総

括

え付け、当面の対応をし の実情も踏まえ検討した ている事例もあり、地域 レに据置型洋式便座を備 いきたい。また和式トイ ながら、段階的に進めて との優先度合いを検討し 今後、他の施設設備



議員

ボラとの関わりについ すくすく

童相談員等専門職を配置 て妊娠から出産、子育て し、三原版ネウボラとし 保育士、助産師、 すく」を設置、保健師や 実の取り組みを問う。 ターすくすく」の機能充 育て世代包括支援セン 平成28年度に「すく 三原版ネウボラ「子 家庭児

すくすく」 窓口 連携する。

「子育て世代包括支援センター

(7)

する取り組みについて 親亡き後の障害者に 対

について問う。 親亡き後の金銭管理

ひろしま版ネウ 期にわたる切れ目のない

的な運営を行う予定だ。 部子ども家庭センターと 措置解除後児童支援を東 童対策地域協議会を運営 に対する対応、要保護児 務を担い、児童虐待事案 よるソーシャルワーク業 対応や調査、訪問などに では、より専門的な相談 子ども家庭総合支援拠点 し、「すくすく」と一体 家庭総合支援拠点を設置 来年度から新たに子ども 支援機関も必要なので、 る子育て世代を支援する を行ってきた。 相談支援と児童虐待対応 複雑多岐な課題を抱え 里親支援や一時保護

> 設入所等、 を図る。 図る。地域自立支援協議 制度の周知、 修、相談支援体制の充実 の利用につなげるよう、 前のうちに成年後見制度 を十分に把握し、親が生 も含めて生活状況や課題 会で権利擁護に関する研 ショートステイ 本人だけでなく家族 住む場所の確 利用促進を や施

るグループホームや、 ある人が地域で生活でき 入所施設がある。障害の ループホーム、4カ所の 期入所施設、 ついて問う。 保の現状や今後の対策に に努める。 短期入所施設の体制整備 急時の受け入れができる 市内には8カ所 19カ所のグ の短 緊

の研究を行い、 する相談に包括的に対応 る体制の強化に努める。 幹相談支援センター設置 援協議会での協議や、 を図るため、 し、相談支援体制の強化 る仕組みについて問う。 複雑かつ多種多様化 包括的に相談を受け 地域自立支 相談でき 基



伊い 也ゃ 議

校船 跡地活用に 木地区活性化 いて 計画 と船・

性化委員会で改定素案の28日には連合町内会、活 校跡地活用であり次の2 る。一番の課題は旧小学 同意を得たところであ 策定中であり、 点について問う。 と方針を整理し、 き続き活性化を図るため 性化に取組んできた。引 「計画改定」に向け課題 を策定し、5年間活 船木地区活性化計 本年2月 素案を

利用していた放課後児童 休止となったが、1階を も教室に活用していた。 児童クラブ、放課後子ど ●廃校時の条件で放課後 ②「技能実習法」に基づ うに対処できるか。 いと思っている。どのよ クラブにも再開してほし 一昨年の浸水被害で一時

う。 た。その後の取り組みと 体制の協力について問 資金的支援及び事業促進 実習生研修施設として船 の活性化のため、 が進んでいる。船木地区 管理組合を設立する準備 して、三原臨空商工会が 小跡地を活用する際の 外国人

態に戻す必要がある。 は市の負担で被災前の状 ❶放課後児童クラブ そ

総

保護者、 今後地元での活用 ら判断したい。 や衛生面が確保で 0 きた段階で児童や きる部分の安全性 童クラブで活用で 方針を踏まえ、児 0 意見も聴きなが 時期としては、 地域など

立 は 2公益財団法人国 管理 研修協力機構に 運 営 团 団体の設 面 で

みができるよう、

モデル事業として取り組 く事業の導入について、

支援を強く要望してき

努め、 . د ۲ する。 部署の連携・調整をして 三原臨空商工会など関係 業推進体制等について、 備や運営に係る国、 7 う 団体と引き続き協議検討 支援制度の研究・把握に いる。 また資金的支援・事 協力をいただけるよ 頼し、 研修施設等のあり 連携を図っ 関連する各 施設整 県の

小人

この他の質問事 項

観光振興に関わるD MCの姿勢について

務委託事業について 産業用地適地選定業



船木小学校跡地活用

問 約1割あった。

括 質 び、イノシシの巣にな 半の間に草が背丈ほど伸 り、野ネズミが増えて人 に取り組むとある。一年 ある豪雨災害の復旧復興 政方針では最優先課題で

会では、復旧着工済みが 害が発生し、1月の説明 は626カ所の甚大な被 進捗状況について 農地・農林業用施設

家の中まで入り困惑され 市長の施 (ため池32カ所、

土砂が流入し雑草が繁茂した水田 覆っているが、 止のためブルーシートで 画について、二次災害防 業の進捗状況と今後の計 にならないよう努める。 家の営農意欲をそぐ原因 策を講じ、豪雨災害が農 復旧までできる限りの対 現地の状況を把握し、本 災カ所の対策についても 田に土砂 小規模崩壊地復旧事



平成30年7月豪雨災 陶す 害復旧 範り 昭まき 員

画・方法を問う。 ている。 今後 0) 復 旧 計

ある。 度までに実施する計画で が膨大なため、令和3年 518カ所で復旧箇所数 歩率17・3%、未着手が た。本年2月末時点の進 26カ所の被害が発生し 水路4カ所、農道32カ 11カ所、揚水機5カ所、 林業用施設148カ所 林道4カ所)合計6 農地478カ所、 頭首工 農

が流入した被 破損し、 民の の一つである。 だくことは、 かを問う。 などから、

早期対策を問う。 家の裏が危険な状況だ。

組む。 た。 含め早期解消に向け取り 所を事業採択し着手し 災した74カ所のうち28カ 市単独事業の実施を 豪雨災害で新たに被

の

に スマ つい た情 トフ 報伝 オン を

判断し、速やかな対応が や自主防災組織の代表者 所の深さや幅など写真で 達するための仕組みにつ どの異状を円滑に情報伝 できると考える。 大きさや数、 を伝達できれば、倒木の 活用して写真や位置情報 いて、スマートフォンを 道路・河川 始めてはどう 陥没した箇 • 公園

ルの情報も収集してい コミュニケーションツー どの情報を提供していた 用して状況写真や位置な スマートフォンを活 方々をつなぐ効果的 有効な手段 行政と市 町内会



亀かめやま

減抑制施策について

抑制に反映できていない。 平均で自然減が700 よると、小学生保護者 ののその結果が人口減の では目標に対して実績が あるが、個々の事業ごと ように思われるが、今後 上がり成果が出ているも 人、社会減が200人で の施策をどう考えるか。 策が成果を上げていない 2015年以降の年 昨年のアンケートに 人口減を抑制する施

いる。 希望数にも影響を与えて 仮に、小・中・高の学

齢期の子育ての悩みや不

軽減することにも重点を の子育ての悩みや不安を 社会増も期待できる。 原のまちの魅力になり、 婚も出生数も増える。三 と思えるようになる。結 る」「もう一人ほしい」 育ては楽しい」「夢があ 安を軽減できたら、「子 市全体として、学齢期

取組みを強化していく。 組んでいく。社会減に対 置いてはどうか。 して、移住・定住促進の くりについて着実に取り 心して生活できるまちづ てられる環境づくりや安 子どもを安心して産み育 自然減に対しては、

うな気がする」(43・

どもを叱りすぎているよ 悩んでいることは、「子

関すること」(40.7%)・ 8%)・「子どもの教育に

「友だちづきあいに関す

が、子育てに関して日頃

ついて 学ぶ力育成事

問 計画されている事業

は、

次世代の結婚や出生

生保護者の悩みや不安

件を報道する。

現役小学

ひきこもり・子どもの事 スコミが虐待・いじめ・ 上位である。さらに、マ ること」(31・3%)が

> 業を計画した。 級集団に焦点を当てて事 ら、学びの基盤となる学 どうかかわるか問う。 の中で育まれるものだか て学ぶことができる環境 「学ぶ力」は安心し

が学ぶ力を伸ばすことに

を大切にしながら取り組 を支援するという考え方 きだと思うがどうか。 の名前を「学ぶ力が伸び れるものではない。事業 いる。子どもの伸びる力 法をはじめ広く使われて る支援事業」と変えるべ 「学ぶ力」は育成さ 「育成」は教育基本

問

んでいく。 指導力向上事業

括

質

幼稚園指導支援員1 教育相談指導員1人 教職員研修

学ぶ力育成事業とは

私立

幼

稚

舅

1

|学習分析事

業

授業研究

総

2 学習支援事業 |学校図書館司書8人 特別支援介助員38名

学校安全指導員1人 学校ふれあい相談員10 英語指導助手10人

Ξ

原

市

青少年指導相談員5人

保

護

幼児教育無償化について

と市の間だけで完了する ある。支払い手続きにつ きをしないとお金が戻っ 護者が園に支払い、手続 稚園は、授業料を一度保 いて、保護者を介さず園 て来ないような仕組みで まったが、本市の私立幼 国で幼保無償化が始

う。

法定代理受領 私 立 幼稚 原 保 市 護 還 者 不足分のみ

保護者負担軽減のイメージ

体的な取り組みとして、 や団体を表彰してはどう 的に取り組んでいる企業 ●食品ロスの削減に積極 れたが、本市における具 ロス削減推進法が施行さ

ように変更できないか問

を採用するよう調整を進 めている。 う「法定代理受領方式」 限額の差額のみ園に支払 受け保護者は無償化の上 幼稚園が市から支払いを よう、令和2年4月から より無償化の実感が湧く 面この方式を採用した。 本となっていたため、当 う「償還払い方式」が基 請すれば還付されるとい 料を支払った後、市へ申 保護者が一旦施設へ授業 国が示した資料では

り組みについて 食品ロス削減の 昨年10月から、食品 取

2スーパーで陳列棚の手

てはどうか。 内業者と連携してポイン 前から購入するいわゆる ト還元などの特典をつけ 「手前取り」に対し、 市

取り組みを実施し、今後 2手前取りについては、 ながら表彰も含めた取り 他市町の事例を参考にし ●国、県と歩調を合わせ 啓発を行っている。 まずは食べ、その後歓談 現可能なことから順次進 果的な施策を検討し、実 例がある。市民及び事業 拡大していくといった事 アで、購入者に対しポイ 組みを研究検討したい。 食べる運動)について 0運動(宴会等で、30分 答 本市として、301 者の理解を得ながら、効 ントを付与する実験的な 大手コンビニエンススト ホームページに掲載し、 し、最後の10分で残りを

■この他の質問事項

めていく。

就職氷河期世代の支 サポカー補助金につ 援について



市道 の 安全対策について |および県道(中之町

年前にも求めているが、 死亡事故が多発してい 原線中之町区間では交通 直しを促進すべきではな 道などの道路標示の引き 路照明灯の整備や横断歩 が占めている。 数以上を歩行者や自転車 いるのか問う。 その後の対策が取られて などの安全対策強化を3 る。信号機や連続照明灯 いか。また、県道尾道三 交通事故死亡者の半 市道の道 3ヶ年で61カ所の整備 要な159カ所について 行った。さらに整備が必 と早急な対応に努める。 年平均4㎞を実施してい や道路標示の引き直しは を行う。センターライン 令和3年以降に計画策定 る。今後も路面状況把握

市道の道路照明灯は

死亡事故多発の県道(中之町区間)

ない。引き続き県の公安 県道尾道三原線は非常に いくべきではないか。 と協議していく。 委員会に強く要望してい 号機はまだ設置されてい 死亡事故発生箇所への信 き直しは県の公安委員会 く。照明灯については県 危険だと承知している。 に引き続き要望を行う。 県道中之町区間では

く考えだ。 きている。市長は県に対 2年に1度死亡事故が起 してさらに強力に求めて より強く要望してい

本郷町 移転新築を急ぐべき の西部分署の

庁舎の耐震補強工事を実 があり、検討の結果、現 係る敷地確保の問題など 嵩上げや仮庁舎の建設に 現在地での建て替えには すべきではないか。 しい対応策を早急に決定 災拠点施設としてふさわ で浸水した庁舎だが、防 署は老朽化し、豪雨災害 に入ったが適地がなく、 早急に移転先の調査 西部分署は豪雨災害 本郷町の消防西部分

を

ではないか。 に急ぎ、移転新築すべき らして適地の選定をさら 施することにした。 西部分署の重要性か

括

横断歩道や停止線の引

長寿命化と耐震補強工事 視野に引き続き検討した 使用可能な施設や新築を 全に努めたい。 を行い、市民の安心・ いが、まずは現庁舎での 今後は本郷地区での

この他の質問事項

高齢者や障がい者の 家庭ごみの個別収集 実施を



議員

新型コロナウイルスへの対策

は

うなっているのか。 場合の危機管理体制はど 現在、広島県内未発 市内に感染者が出た

場合、対策本部に速やか 連携体制を問う。 に移行する。 市内の医療機関との

ている。

質

問

ている。県内で発生した

症対策連絡会議を設置し

制である。 る医療機関を受診する体 所に連絡し、県が指示す 受診に当たっては、保健 定医療機関はないので、 市内には、感染症指

総

のみとし、 いては、所在市町のみを 動歴、滞在場所は市町名 する以外には、住所、行 性別、職業、 に想定しているのか。 制と告知内容はどのよう した場合の緊急告知の体 市内で感染者が発生 緊急告知は、年代、 医療機関につ 症状を公表

> る旨を、各学校に通知し 対応の流れに沿い対応す ら示されている発生時の は、広島県教育委員会か 出た場合の対応について ようになっているのか。 出た場合の対応は、どの 教育現場で罹患者が 教育現場で感染者が

生期にあり、三原市感染

をするのか。 に対してどのような対応 行することがある。それ 感染者に対する偏見が横 学的認識が非常に低く、 ウイルスに対する科

していく。 らも正しい情報の発信を とればよいかなど、市か きるか、どういう行動を ば感染症を防ぐことがで い知識を得て、どうすれ 感染症に対する正し

国道185号の安全

じる必要があるが、市と もに抜本的な安全策を講 ている。市として県とと ているのか。 してはどのように認識し 全く歩道もなく、歩車道 野から幸崎に至るまで、 の区別のない道路が続い 国道185号は、 貝

る。 あることを認識してい など、安全対策が必要と 歩道未整備の区間がある 幸崎町久津までの なる箇所がほかにも多く 貝野から竹原市 間で、

緊急度の高い箇所から優 るよう努めていく。 所を把握するとともに、 先して安全対策が図られ 県と連携して、 危険箇



国道185号



間地域における行政の支援

り組みか。 付金)とはどのような取 織に対する支援(一括交 く施策において、 地域経営方針に基づ 住民組

及び

施策に

した「地域経営方針」に その使途について決 平成31年3月に策定 地域の状況に応 財政支援に係る 均等割や 住民

け、

人口減少の抑制に向

うに進めていくの

り、 基づき、 在の「住民組織活動補助 組織が一定の裁量によ の補助金と異なり、 するとともに、これまで 既存の補助金等を一括化 金で、住民組織に対する ものが地域経営推進交付 金」及び「住民組織協力 定できる制度である。現

をどう確保するのか。 じた加算を設ける。 費」を見直し、 アで移動が可能な区域運 民生活に必要な移動手段 目的地までドアツード 自宅近くから地域内 買い物や通院など住

> も含めて取り組む。 形態を見直し、更には路 行の乗合タクシーに運行 容について、実証実験等 期待でき、かつ可能な内 的に情報収集するととも 術の動向等について継続 む。また、新しい関連技 となる環境整備に取り組 で、広域的な移動も可能 線バスに接続すること に、本市において効果が

制に向けた全体的 人口減少の抑 おいては、 に、中山間地域に ことが必 移住者獲得を図る みたいと思われる 市民に住み続けて な方針としては、 か。 と、市外住民に住 いただく転出抑制 少要。特 地域お

> 携を図る。 行政と地域との緊密な連 サポートなどにおいて、 バンク制度や移住者受入 の配置を継続し、空き家

自治区長等に対する

こし協力隊や地域支援員

意見もあり、 などの負担軽減を求める は最小限度とするべき」 要するため、「回覧文書 渡しなどに膨大な作業を 媒体では伝達が難し 発文書、広報誌など他の の安心・安全に関する啓 説明会開催等の周知文書 回覧文書の見直しを行 配布物制限の理由は。 書に対象を絞った。 防災・防犯など市民 町内会を対象とした 文書の仕分けや受け 今年度から



農作業中のイラスト

問

質 る。有害物質が付

害物質が施設外に 立された場合、 有

利用している市民の健康 には、本市最大の長谷取 への影響を危惧してい 水場があり水道水として 水として利用され、下流 流出する心配がある。 沼田川流域は、農業用

総

括

2土砂流出防備保安林に 解を問う。 囲まれており、一昨年の 住民を守る市としての見 不安や課題に対して説明 ●事業者は、 責任を果たしていない。 地域住民の

がある。市として林地開 豪雨で土砂崩れ発生箇所



定された。

連死として13名の方が認

奪われた。

また、

災害関

産業廃棄物処理場について

問う。

実態をどのように把握 ●災害関連死につい

て、

し、検証されているかを

らない災害での関連死 ❷いつ襲ってくるか分か

が増えない取り組みを問

も法令上不要であ 浸水に対する処理 処分するもので、 ない素掘りの穴に 防水シートも 処分場は遮水

入した廃棄物が埋 着していたり、 混

2水質の悪化の恐れにつ が進むよう対処する。 内容に対する住民の理解 拭していないので、事業 や土砂災害への不安を払 発許可の見解を問う。 答 ■周辺住民の水資源

る。 齟齬がないように審査す 重要。事業計画の内容に 心な暮らしを守るために

災害関連 死につい 7

により、8名の尊い命が 一昨年の西日本豪雨





周辺地図

かった。 負担を十分に軽減できな ており、被災者の不安や れた事案が多く、高齢者 症状が悪化して亡くなら の健康管理が課題と捉え 災害をきっかけに、 ❶持病 0) あっ た方

要と痛感している。 築し、迅速に動く事が必 康管理等について、平時 難所の環境や被災者の健 個別支援計画を作成し、 みを強化し、 身のケアに対する取り組 2被災者の孤立防止と心 災後からの初動態勢を構 から考えるとともに、 被災者支援に努める。避 世帯ごとの生活相談など 任の支援員を配置して、 いセンターを設置し、専 地域支え合 発

いては、市民の安全・安



議員

ろ BINGOについて しまトリエンナーレ2020

用対効果を問う。 佐木島で開催したプレイ ベントに対する反響と費 in 昨年10月に佐木・小 外に発信した。

的に、 金は100万円。また、 催した。ワークショップ タンドin小佐木島」を開 ンドの制作や食体験イベ 者と恊働でテーブルスタ へは36人、食のイベント ント「旅するおむすびス ントへの市からの負担 は約100人が参加 好評を博した。当イ 機運醸成と広報を目 市民や地域の関係 で、 芸術の知見を有する者で 市・尾道市・関係団体と 制を構築する。県・福山 構成する独立した委員会 え、観光振興・地域経済・ 域活性化の観点を踏ま 術に加えて観光振興や地 十分な連携のもとに芸術 る展示内容を決定する体

開催目的を達成でき

トリエンナーレの舞台小佐木島

ように取り組む。

第2期三原市まち・ 合戦略につい ひ と・しごと創生総

問 若者の流出傾向を抑

推進する。

て

SNSを活用して市の内 新聞やテレビ・ラジオ・ る作品への審査体制は。 の本イベントに出展され 今年の秋に開催予定 みを行う。 の取り組みを通じて、郷 みや学校と企業が連携し 続。一校一貢献の取り組 イホーム応援事業の継 補助事業、ファーストマ 土愛の醸成を図る取り組 した移住を促進する家賃 育て・若年世帯を対象と めの取り組みとして、子 た職場体験や特産品開発

取り組む。 じて、関係人口の創出に 地域交流などの実施を通 対象に体験学習ツアーや また、首都圏の若者を

質

展示内容について芸

制に効果的な取り組みを するなど、市民の流出抑 み続けられるよう、暮ら 圏では、市民が地域で住 り組みを、また定住自立 上や移住者の獲得など人 策において、出生率の向 しに必要な諸機能を確保 口減少抑制に効果的な取 援環境の充実」などの施 な企業誘致」「子育て支 ための施策について。 市民満足度を向上させる 総合戦略では「新た 人口9万人の維持と

経済の活性化を図るとい 祭の開催を通じて、

地域

う開催目的を達成できる



制するための施策とは。

20~30歳代の人たち

転出超過に対応するた

梅あうめも 本と 秀 でであき 議員

指定管理者制度について

はないか。 ては、見直しをすべきで 将来性のないものについ 貢献度の低いもの、

減や平準化を図る。 出させ、 事業・決算報告書等を提 務報告書、自己評価表、 市民サービスの維持や向 公共施設全般に渡って、 価を行っている。今後も 上と共に、財政負担の軽 指定管理者からの業 毎年度確認や評

問

今後のまちづくりは

総

括

り、点から線へ、線から 地域である。しかし中心 展や観光の将来性がある 状況に置かれている。 業者は相変わらず大変な 市街地、特に駅前の小売 ·戻すには、人の流れを への取り組みが必要 る回遊性が必要であ 活性化、にぎわいを取 三原地区は商業の発

> と思うがどうか。 かる仕組みをつくるべき 開により、小売業者が儲 の集客力を高める事業展 中心市街地、特に駅前

今着工の産業団地が完成 活性化を推進していく。 の集客力を高めて地域の り、駅前や中心市街地へ に取り組みを進めてお 観光消費額の増加を目標 るとともに、観光客数と 特に船木地域では、 交流人口の拡大を図 本郷地区において

隘な道路があり早が予想される。狭 えた道路整備の 害等の緊急時に すると交通量が増 え、今後の自然災 住環境の向上に加 意見・要望を受け、 が必要ではないか。 急に住環境の整備 え、定住者の増加 地域の皆様の

> があり、 はないか。 円の収入を目指すべきで 所得の低さであり一千万 足である。 事者の高齢化と後継者不 域である。 を有する農業に適した地 間地域で気候の寒暖差 、井大和地区は、中 広大な耕作面積 大きな要因は 課題は農業従

る。 円が目標に設定されてい 全国的に所得五百万

物の高収益作物生産を進 は、 が必要であり取り組んで め、さらには六次産業化 地域に応じた重点振興作 模と販路の確保を行い、 所得を確保するために 農地の確保や経営規



開発の進む三原駅前



ことでありそれが政治で

産業廃棄物最終処分場建設計 阃

進んでいるが、住民合意 出され、 業者から県へ申請書が提 の産業廃棄物最終処分場 はとれていない。 の計画について、民間事 本郷地区に建設予定 建設計画が前に

後の対応を聞く。 る」と答えている。 長は「住民の意向を受け 般質問の答弁では、市 止め皆さんとともに頑張 私の平成30年12月の一

導することを要請してい 誠実な対応を行うよう指 協議会と協議を続けてき る。また、三原竹原住民 に向けて、地元関係者へ 広島県に対して、事業者 会の請願採択に基づき、 30年12月以降は、 議

か。

となった。 検査が終了し、 いては、 現在は、県において有 事業者の許可申請につ 書類検査と現場 告知縦覧

> 識者の意見聴取が行われ ているので市と県と連携 ている。許可は決定して して対処していく。 いないが、事業者の住民 への説明が不十分と考え

なっていないのではない をしないことになってい 会だけで、それ以外と話 方5町内会、竹原1町内 がある。関係地域を、南 て、 る。これは、住民説明に 市民側と認識のずれ住民協議の場につい

える。 明会を行うように 説明会はあると考 後、関係地域への 指導しており。今 るが、事業者に説 うことになってい 役員に対してとい と町内会、 今は、協議会 町内会

は、 未来を考える 市長の仕事

査」を行う。児童生徒一 に加え「学習環境把握調

としては「三原ふれあい ている。現在の取り組み で「学力定着状況調査」

一のなか

の考えを聞く。 民の味方であるべき市長 念を示す方法がある。市 プレスリリースなどで懸 民間事業者と直接対話、 で選ばれた市民の代表で マスコミを使った声明、 るのが役割だと考える。 市民の意向を伝え また、市長は選挙

実な対応を行うように県 事業者が地元関係者に誠 に要請する。 住民の不安を踏まえ

ションしか方法はないと ないか。市長直接のアク で県を免罪符に使ってい 県と一緒という答弁

思うがどうか。 県に強く要望してい

総

_{意族处理施設} 設反対 町内連合会

町内連合会が立てた看板

問

8%広島県66%本市68% 年生は、国語が全国63・ 県8%本市6%だった。

ていく。

学級経営の指導力を高め にかかる研修等で教員の

学校ふれあい相談員・関

談員・学校・教育委員会・ を見直し、青少年指導相 開設日を増やすなど体制

質

②次年度は教職員の「指 均を上回っていた。 均を下回る結果となっ 54%で中学校は、全国平 語が全国5%県5%本市 8%県60%本市57%、 72%で、数学が全国5・ 校は8割の学校が全国平 は、小学校は全校、中学 た。標準学力調査の結果 英

岡_{かもと}

小 ついて 中学校の学力向上・定着に

員の指導状況はどうか。 学力を教育委員会は、ど 習状況調査結果は②教職 うとらえているか。❶学 ❶学力状況調査結果 本市の児童・生徒の

全国72・8%県7%本市 で、算数が全国66・6% の平均正答率は、小学6 中学3年生は、国語が

括

の実態と対策は。

どんな状況にあるのか学 い学級集団づくりを進 校全体で把握・分析を行 人一人が学級集団の中で プログラミング教育 ICT機器の活用研

実に努めている。

に学校訪問を行うことや

2年度からは、定期的

教職員との教育相談の充

置し児童生徒・保護者・

では「心の教室相談員」

「家庭訪問支援員」を配

学習指導を実施し、7名 談員を配置し相談活動や

が通っている。また学校

ついて 本市の不登校対策に

取り組みを行う。

添い個々の状況に応じた 供たちに、しっかり寄り 構築し学校にいけない子 係機関等との連携体制を

なっている。病気・けが おり、大きな課題と考え の児童生徒は、小学校25 等を理由に30日以上欠席 53人、中学校105人と 登校児童生徒は、小学校 なされないが長期欠席者 徒の実数は、不登校と見 人、中学校19人となって 令和2年1月現在不 現在不登校の児童生



中学生のイラスト



により、

設置者は許可申

地元調整に関する要綱」 物処理施設の設置に係る

本郷町! 処分場について に新設予定の民間

亀裂が想定され、素掘り 峰という特殊な場所であ の椋原川に分かれる山の 活環境保全上、 定型処分場の建設は、生 の穴に廃棄物を埋める安 在することから、 であることと、断層が存 る。また、地質が花崗岩 の日名内川と賀茂川流域 の分水嶺で、 計画地は三原と竹原 沼田川流域 不適切で 多数の

する住民の不安を払拭 提出した。主な内容は、 事業者を指導すること。 行い水資源の保全等に対 のため、地元との協議を ●環境保全協定が未締結 について、本市の意見を 保全上の見地からの意見 許可申請に係る生活環境 し、協定を締結するよう 県から照会を受け、

災体制構築の指導をする 対策を徹底させるととも 認すること。③災害防止 あり、排水量、土砂流出 用水域に排出される水が 2調整池を経由せず公共 に迅速な対応ができる防 に、災害が発生した場合 など下流域への影響を確

適切か県が判断する。 監視と指導をすること。 こと。

4関係法令の排出 基準が遵守されるように 許可権者は広島県であ 生活環境保全上、

そもそも「産業廃棄

本郷方面に向けての国道

通後の防災センターから は、尾道へのバイパス開 住民が立てた看板

ではないか。 けないと県に求めるべき られるまで着工してはい るのか。住民の理解が得 する要綱」なども守られ 処理に係る事前協議に関 外産業廃棄物の県内搬入 請を出す前に地元説明会 に至っている。今後、「県 をしなくてはいけない 守られないまま現在

家の姿である。 て行われることが法治国 掃に関する法律に基づい 廃棄物の処理及び清 設置許可の手続き

質

政指導に取り組む。 今後も県と市が一緒に行 超えることができない。 綱は行政指導という枠を 処するため、広島県とし て要綱を定めている。要 の間の社会的な紛争に対 ただし、住民と事業者

この他の質問事項

ついて

三原市の道

路整備.

新図書館 観光政策について 環境政策について の活用に つ

ている。問題となるの

道への開通が間近に迫っ

●三原バイパスの尾



義じあき

みについては、 合意形成に向けた取り組 市政に対する市民の 人口減

との接点を増やし、市民 ある。見解を問う。 協働の行政運営が必要で が望まれる。対話、 るなか、着実な市政運営 コロナウイルス感染症 少、大災害、さらに新型 重要な課題の山積す 市民

問

なまちづくりを進めるた 極的に持ちたいと考えて 接対話ができる機会を積 可欠であり、 め市民の理解や協力が不 災害復興や持続可能

市民との直

総

括

2県道、国道の整備の遅 バイパス西側終点以西に の長年にわたる問題、 の路線改良、三原東城線 れについて、三原竹原線 今後の課題は重要であ 再構想が必要と考える。 大きな影響が出てくる。 渋滞が起き、市民生活に あったが、今でも一層の ついてのバイパス構想も 整備である。以前、三原 展望を問う。 さ

し働きかけていく。

令和2年度市長の施政方針につい 議員 考え、国や関係機関に対 路整備については重要と むけ取り組んでいる。 滞緩和と安全性の向上に されることから合流地点 点改良事業を行ってい から約200m延伸し渋 る。今以上に渋滞が懸念 バイパス終点の新倉交差 三原バイパス以西の道 ■現在国道2号三原

望していく。 ②三原東城線、三原本郷

て早期整備が必要と認識 線、三原竹原線につい し、引き続き県へ強く要



三原バイパス西側終点付近

備について現状と展望を らに三原本郷線の改良整

総務財務委員会

2月定例会付託議案審査

啓発等休業及び就学部分55号「三原市職員の自己条例制定について」議第 \subseteq ついて」議第56号「三原 議第54号「三 に関する条例制定につい 市職員の配偶者同行休業 休業に関する条例制定に 高齢者部分休業に関する 原市 職 員の 提に運用していきたい。 または部分休業を承認し 判断した場合には、休業

事項を定めようとするも づき、条例により必要な 地方公務員法の規定に基 制度を導入するために、 職員の休業及び部分休業 【概要】この議案3件は

について説明する場を設

管理職に対し、

制度

管理職から各職員に

【主な質疑の内容】

ことなどで周知を図りた

庁内の掲示板に掲載する

周知させることに加え、

がとれるのか。 だが、職員定数を変更す ることなく効果的な対応 いようにするということ 運営に支障を生じさせな 分休業の承認は、公務の 職員の休業または部

を活用しやすくなるよう

職場環境の整備に努め

たい。

ている。このような対応 行うことでの対応を考え る仕事の組み替えなどを として会計年度任用職員 雇用や、所属内におけ の代替 債の充当予定額を増額す るため、当初の計画を変 政上有利な辺地対策事業 ことについて」 共的施設の総合整備計画 議第58号「辺地に係る公 定された当該計画のう め」を更新するために策 (佐木辺地)を変更する 【概要】救急艇「か 財源内訳について財

ŧ

休業する職員

更しようとするもの。 【主な質疑の内容】

0

運営に支障が生じると

を講じても、なお、公務

額の充当としていなかっ た理由は。 策事業債を、当初から全 財政上有利な辺地対

費の全額について起債の 基金を充てていたもので 同意を得ることができた。 あ 0) 可能性を考慮して、 行額が同意を得られない が必要であり、本市の発 の発行には、 額のある辺地対策事業債 るが、このたび、事業 計画では財源の一部に 都道府県単位で上限 知事の同意 当 初

周知・啓発はどのように

職員に対する制度の

低下を招かないことを前

ており、市民サービスの

ない選択肢もあると考え

取り組むのか。

して制度を活用すること い。また、管理職が率先

希望する職員が制度

致、提案理由を了とし、 他9件について、全員 原案どおり可決した。 採決の結果、 議 第 52 号

厚生文教委員会

営に関する基準を定める 保育事業等の設備及び運 条例の一部改正について」 議第62号「三原市 家庭

者における連携施設の確 の要件等を緩和するた 育所型事業所内保育事業 の確保義務の緩和及び保 部改正に伴い、連携施設 る基準を定める省令の め、条例を改正するもの。 保義務の免除の追加など

事業所として、小規模保 となる家庭的保育事業所 等があるのか。 て、 義務の緩和や免除の対象 【主な質疑の内容】 本市には家庭的保 この条例改正によっ 連携施設を確保する

適用を受けなければ運営 このたびの要件緩和等の 保されていることから、 る際に連携施設を既に確

> 所等はない。 できない家庭的保育事業

2月定例会付託議案審査

した。 本案は、

経済建設委員会

を廃止するもの。

経済的負担が大

等の設備及び運営に関す

【概要】家庭的保育事業

2月定例会付託議案審

Z び管理条例の廃止につい トムギ等乾燥調整施設及 議第63号「三原市 大和

ら、廃止するもの。 6日となっている現状か 量の減少やハトムギ乾燥 調整施設の稼働日数が年 【概要】ハトムギの生産

【主な質疑の内容】

育

保されるのか。 用できる施設は今後も確 間 ハトムギ生産者が利

る。 調整施設を設置してい 同施設を利用予定であ の管理のもと、 を借りて、 JA広島中央の敷地 今後はJA広島中央 敷地内に乾燥 引き続き

いて、事業の認可を受け あるが、この4カ所にお 所内保育事業所1カ所が 育事業所が3カ所、事業

> 議第64号 [三原 業構造改善センター設置

採決

といって

【概要】

稼働率の低

下

施設の老朽化、

浄化

及び管理条例の廃止につ

市久井就

致、提案理由を了とし 採決 の結 果、 全員

原案どおり可決 きいことから、当該施設 る場合、 転後に単独で運営を続け 槽などを久井支所と共用 しており、久井支所の移

されるのか。 的負担がどれくらい 設を廃止した場合、経済 ンターの利用状況と、 【主な質疑の内容】 久井就業構造改善セ く軽減

施

は、 る。 農産物生産組織が年に5 るほか、三原久井ライオ 度軽減される。 等を含めて130万円程 会議等で利用されてい ンズクラブが月に2回、 商工会が年間使用してい その他に行政主催の 経済的負担について 浄化槽の維持管理費 本施設は、三原臨空

ほ し、原案どおり可決した。 一致、提案理由を了と か7件について、 採決の結果、議第63号 全員

令和2年第1回定例会議決結果

【全員賛成のもの】

	195,00,0001		
議案番号	件名	議決年月日	議決結果
議第2号	令和 2 年度三原市ケーブルネット ワーク事業特別会計予算	3月17日	原案可決
議第3号	令和 2 年度三原市公共用地先行取得 事業特別会計予算	3月17日	原案可決
議第4号	令和2年度三原市港湾事業特別会計予算	3月17日	原案可決
議第5号	令和 2 年度三原市駐車場事業特別会計予算	3月17日	原案可決
議第6号	令和2年度三原市土地区画整理事業 特別会計予算	3月17日	原案可決
議第8号	令和 2 年度三原市国民健康保険 (直 営診療施設勘定) 特別会計予算	3月17日	原案可決
議第9号	令和2年度三原市後期高齢者医療特別会計予算	3月17日	原案可決
議第10号	令和2年度三原市介護保険特別会計予算	3月17日	原案可決
議第11号	令和2年度三原市東町財産区特別会計予算	3月17日	原案可決
議第12号	令和2年度三原市中之町財産区特別 会計予算	3月17日	原案可決
議第13号	令和2年度三原市沼田西町松江財産 区特別会計予算	3月17日	原案可決
議第14号	令和2年度三原市小泉町財産区特別 会計予算	3月17日	原案可決
議第15号	令和2年度三原市本郷町本郷財産区 特別会計予算	3月17日	原案可決
議第16号	令和 2 年度三原市本郷町船木財産区 特別会計予算	3月17日	原案可決
議第17号	令和 2 年度三原市本郷町北方財産区 特別会計予算	3月17日	原案可決
議第18号	令和2年度三原市下水道事業会計予算	3月17日	原案可決
議第19号	令和2年度三原市水道事業会計予算	3月17日	原案可決
	三原市部等設置条例の一部改正について	3月17日	原案可決
議第21号	三原市職員等の旅費に関する条例の 一部改正について	3月17日	原案可決
議第23号	三原市老人大学設置及び管理条例等 の一部改正について	3月17日	原案可決
議第24号	三原市の議会の議員及び長の選挙に おける選挙公報の発行に関する条例 制定について	3月17日	原案可決
議第25号	三原市非常勤職員の報酬及び費用弁 償に関する条例の一部改正について	3月17日	原案可決
議第26号	三原市デイサービスセンターわたせ の指定管理者の指定について	3月17日	原案可決
議第27号	過疎地域自立促進計画の変更について	3月17日	原案可決
議第28号	三原市空家等対策条例制定について	3月17日	原案可決
議第29号	三原市消防団条例の一部改正について	3月17日	原案可決
議第30号	三原市立図書館設置及び管理条例の 一部改正について	3月17日	原案可決
議第31号	三原市歴史民俗資料館等設置及び管理条例の一部改正について	3月17日	原案可決
議第32号	三原市公民館設置及び管理条例の一 部改正について	3月17日	原案可決
議第33号	三原市芸術文化センター設置及び管 理条例の一部改正について	3月17日	原案可決
議第34号	三原市人権文化センター設置及び管 理条例の一部改正について	3月17日	原案可決

議案番号	件名	議決年月日	議決結果			
議第35号	三原市法定外道路、河川等の管理に 関する条例及び三原市道路占用料徴 収条例の一部改正について	3月17日	原案可決			
議第36号	三原市単独住宅設置及び管理条例制 定について	3月17日	原案可決			
議第37号	三原市手数料徴収条例の一部改正について	3月17日	原案可決			
議第38号	三原市国民健康保険税条例の一部改 正について	3月17日	原案可決			
議第39号	三原市水道事業給水条例の一部改正 について	3月17日	原案可決			
議第40号	平成31年度三原市一般会計補正予算(第7号)	3月6日	原案可決			
議第41号	平成31年度三原市公共用地先行取 得事業特別会計補正予算(第1号)	3月6日	原案可決			
議第42号	平成31年度三原市港湾事業特別会 計補正予算(第1号)	3月6日	原案可決			
議第43号	平成31年度三原市駐車場事業特別 会計補正予算(第1号)	3月6日	原案可決			
議第44号	平成31年度三原市土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	3月6日	原案可決			
議第45号	平成31年度三原市公共下水道事業 特別会計補正予算(第1号)	3月6日	原案可決			
議第46号	平成31年度三原市小型浄化槽事業 特別会計補正予算(第1号)	3月6日	原案可決			
議第47号	平成31年度三原市国民健康保険(事業勘定)特別会計補正予算(第2号)	3月6日	原案可決			
議第48号	平成31年度三原市国民健康保険(直営診療施設勘定)特別会計補正予算(第1号)	3月6日	原案可決			
議第49号	平成31年度三原市後期高齢者医療 特別会計補正予算(第3号)	3月6日	原案可決			
議第50号	平成31年度三原市介護保険特別会計補正予算(第4号)	3月6日	原案可決			
議第51号	平成31年度三原市水道事業会計補正予算(第1号)	3月6日	原案可決			
議第52号	三原市定住自立圏形成方針の議決に 関する条例制定について	3月6日	原案可決			
議第53号	三原市職員の服務の宣誓に関する条 例の一部改正について	3月6日	原案可決			
議第54号	三原市職員の高齢者部分休業に関す る条例制定について	3月6日	原案可決			
議第55号	三原市職員の自己啓発等休業及び修学 部分休業に関する条例制定について	3月6日	原案可決			
議第56号	三原市職員の配偶者同行休業に関する条例制定について	3月6日	原案可決			
議第57号	三原市吏員退隠料、退職給与金、遺 族扶助料及び死亡給与金条例の一部 改正について	3月6日	原案可決			
議第58号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画 (佐木辺地)を変更することについて	3月6日	原案可決			
議第59号	道路災害復旧工事(市道本郷町日山 地用倉線)請負契約の変更について	3月6日	原案可決			
議第60号	呉線安芸幸崎・忠海間岡山人道橋外 1補修工事委託契約の変更について	3月6日	原案可決			
議第61号	呉線三原・須波間羽仁架道橋新設工 事協定の変更について	3月6日	原案可決			
議第62号	三原市家庭的保育事業等の設備及び 運営に関する基準を定める条例の一 部改正について	3月6日	原案可決			

議案番号	件	名	議決年月日	議決結果
議第63号	三原市大和ハト <i>L</i> 設置及び管理条例	ムギ等乾燥調整施設 川の廃止について	3月6日	原案可決
議第64号	三原市久井就業構 置及び管理条例の	造改善センター設)廃止について	3月6日	原案可決
議第65号	三原市漁港管理条例	の一部改正について	3月6日	原案可決
議第66号	三原市森林環境調 について	1950年1950年1950年1950年1950年1950年1950年1950年	3月6日	原案可決
議第67号		団地地区地区計画の 登築物の制限に関す ○こ	3月6日	原案可決
議第68号	三原市営住宅設置 例の一部改正にて	置、整備及び管理条 いて	3月6日	原案可決

議案番号	件	名	議決年月日	議決結果
議第69号	三原市水道事業の設置等に 例の一部改正について	関する条	3月6日	原案可決
議第70号	三原市定住自立圏形成方針 ついて	の策定に	3月17日	原案可決
	呉線安芸幸崎・忠海間岡山 1補修工事委託契約の変更 分に対し承認を求めること	の専決処について	2月25日	承認
	三原市固定資産評価審査委員選任につき同意を求めること		3月17日	同意
同第4号	三原市固定資産評価審査委員 選任につき同意を求めること	会委員のこについて	3月17日	同意
同第5号	三原市固定資産評価審査委員 選任につき同意を求めること		3月17日	同意

【賛否が分かれたもの】

議案番号	件名	議決年月日	議決結果				杉谷 辰次			安藤 志保	由	児玉 敬三			伊藤 勝也				木			中重伸夫				七川義明		仁ノ岡範之
議第1号	令和2年度三原市一般会計予算	3月17日	原案可決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	\circ	\circ	\circ			0	\circ	0	0	0	0	×	議
議第7号	令和2年度三原市国民健康保険(事 業勘定)特別会計予算	3月17日	原案可決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	×	議
議第22号	福山市と三原市との間における連 携中枢都市圏形成に係る連携協約 の変更について		原案可決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	議
同第1号	三原市教育委員会教育長の任命に つき同意を求めることについて	3月17日	同意	0	0	0	0	0	×	×	0	0	0	0	0	退	0	0	退		0	退	×	×	退	0	×	議
同第2号	三原市公平委員会委員の選任につ き同意を求めることについて	3月17日	同意	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0	×	議
諮第1号	人権擁護委員の候補者に関する諮 問について	3月17日	異議なしと 決定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	×	議

賛成:○ 反対:× 退席:退 本会議欠席(早退を含む):欠 除斥:除 議長:議〔議長は採決に加わりません〕

令和2年次回定例会 予定表 (令和2年3月17日現在)

月		曜	開会予定時刻	会議
6	9	火	10時~	本会議 開会
	11	木	10時~	本会議 一般質問
	12	金	10時~	本会議 一般質問
	15	月	10時~	本会議 一般質問 (予備日)
	16	火	10時~	常任委員会 (総務財務)

月		曜	開会予定時刻	会議
6	17	水	10時~	常任委員会(厚生文教)
	18	木	10時~	常任委員会 (経済建設)
	19	金	10時~	補正予算特別委員会
	23	火	14時~	本会議 閉会

※都合により日程を変更することがあります。

三原市議会広報広聴委員会 三原市港町三丁目5番1号 F T A E X L 6367 1 6 1 3 7 4 5 4 5

ります。 各地のコミセンでも配布してお 1階ロビー・各支所・中央公民館・ ※「市議会だより」は、 市役所

木村 尚登・田中 裕規・安藤 萩 由美子・伊藤 勝也 高木 武子・岡本 純祥 富雄・亀山 弘道・新元 高原

議会広報部会員 伸一

安藤

志保

さ=レジリエンス」を、個人とし 乗り越え復元する「しなやかな強

ても社会としても身に付けていき

たいと思います。

です。 に圧倒され続けています。困難をる感染症など、自然界からの脅威 力」や「回復力」を意味する言葉 ようにしなって元にもどる「復元 のような強さではなく、釣り竿の を表す言葉ですが、コンクリート 触れる機会が増えました。 近年、気象災害やウイルスによ 「レジリエンス」という言葉に

編集委員のつぶやき

三原市立大和中学校3年

福る 場ば

凛りん

挨拶のあふれる町、

大和

る地域の皆さん。そんな優しさにあふれ、豊かな自然に囲まれた大和町が、 そんな私たちの挨拶に、笑顔で「おはよう」「お帰り」と言ってくださ 「おはようございます。」「ただ今帰りました。_

な声で、自分から。そのとき、先輩方の挨拶はすごいと思いました。 挨拶のお手本を見せてくださいました。立ち止まり、相手を見て、大き 私が小学生のとき、 十五年間過ごしてきた私の町です。私は温かい大和町が大好きです。 私がこの三月に卒業した大和中学校では、挨拶に力を入れています。 挨拶運動で小学校に来ていた大和中学校の先輩方が、

入生オリエンテーションや部活動などの場でお手本を示しました。 これからも大和中学校の伝統を受け継いでいってほしいと思いながら、新 たお手本を、今度は私が教える番になりました。私がそうだったように、 思いから、生徒会執行部に入りました。私が小学生のときに見せてもらっ て実行しました。上級生になると、この挨拶を後輩につなぎたいという あるとき、学校からの帰り道で近所の方に「ただ今帰りました」と言 中学校に入学してからは、自分もそんな挨拶をしたいと思い、意識し

学校の伝統である挨拶を受け継 りました。 いでいると実感し、うれしくな ました。そのとき、 てくれるね」と言っていただき いた後に、「いつもいい挨拶をし うと、「お帰り」と返していただ 私も大和中

むみんなの挨拶で満たしていき であふれる大和町を、 ます。これからも、そんな笑顔 する力をもっていると思ってい している挨拶は、誰かを笑顔に たいです。 私は、普段当たり前のように そこに住



う子ども達の声を紹介しま 連載第41回

> 三原市立宮浦中学校 1年

> > 原は

楓なる

い奉仕活動で感じたこと

と話がしたいと思うようになりました。 と感じるようになり、交流も深めることができました。来年は自分からもっ うになりました。また、コミュニケーションをとることで「活動が楽しい_ めはあまり話せませんでしたが、活動が進むにつれ、自然と会話が出きるよ あいさつをするくらいで、なかなか話をする機会がありませんでした。はじ れあい奉仕活動」があります。その活動を通して感じたことが二つあります。 私の通う宮浦中学校では、地区の清掃を通して地域の方と交流を深める「ふ 一つ目はコミュニケーションが大切だということです。地域の方とは普段

とに改めて気づかされまし 普段何気なく通っているこ いることに気付きました。 みると、たばこの吸い殻や空き缶、ペットボトルなどが無造作に捨てられて

そんなにごみなんて落ちていないだろうと思っていましたが、注意して見て

二つ目は、地域をきれいにすることが大切だということです。やる前は、

感じました。 から街をきれいにしていく びを感じるとともに、普段 なっていく様子をみて、喜 らごみを拾い、きれいに た。地域の方と協力しなが ことを心掛けていきたいと

原市の町づくりを実現して を取り合って、きれいな三 含め、地域の方とともに手 通して、小学校や高校生も いきたいと思いました。 私はふれあい奉仕活動を

